IPA企業組織向け サイバーセキュリティ相談窓口

IPAでは企業組織向けに、セキュリティの総合的な相談窓口を設けています。インシデント発生時などにご活用ください。

各種インシデント発生時の初動対応に関する相談

- 起きている事象をヒアリングし、被害発生の可能性について助言します
- 被害が発生している場合、有効な応急処置案について助言します
- インシデント対応を行う専門業者一覧の紹介をします
- 他に必要な相談・報告先等の紹介をします

標的型サイバー攻撃に関するインシデント相談

- 国家支援型の標的型サイバー攻撃（APT）を受けている可能性がある場合は、専門的知見を持つチームによる支援を実施します

その他の情報セキュリティに関する一般的な相談

- 中小企業などにおける、情報セキュリティ対策ガイドラインや各種支援ツール・支援施策などをご案内します

脅威情報に関する情報提供受付

- IPAによる被害拡大防止策の実施や注意喚起のために、標的型サイバー攻撃や、その他の脅威情報に関して情報提供を受付けています

＜連絡先＞

cs-support@ipa.go.jp

ホームページ

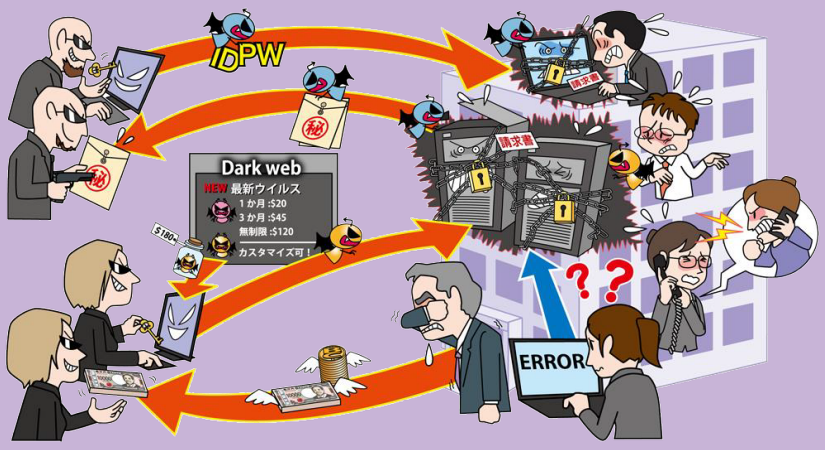
https://www.ipa.go.jp/security/support/soudan.html

独立行政法人
情報処理推進機構
Innovation Platform Agency, Japan

変わらず続く脅威ランサムウェア攻撃への対策を

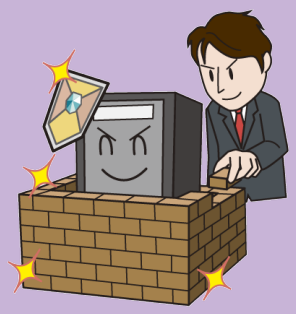
－IPA情報セキュリティ10大脅威 引き続きトップランクの脅威－

●ランサムウェア攻撃とは



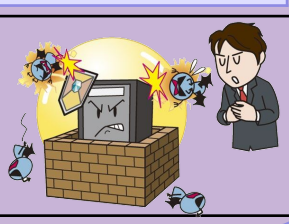
- 組織内のネットワークに侵入し、重要なパソコンやサーバーのデータ暗号化を行い、これらを取引材料とした様々な脅迫により金銭を要求する攻撃である。
- 攻撃者は暗号化前にデータを持ち出し公開をたてに2重の脅迫をおこなうケースが多くなっている。
- 侵入経路は**VPN装置等のインターネット境界の機器**からが大半であり、**脆弱性対応の遅れ**が被害につながる。
- 近年ではランサムウェアによる暗号化を行わず、窃取した機密情報を公開すると脅迫する「ノーウェアランサム」も確認されている。

●ランサムウェア攻撃の対策



組織全体での取り組み	●インシデント対応体制を整備する等の組織としての体制の確立 ●**情報セキュリティ対策の基本**を実施 ●サーバーやパソコン、ネットワークに適切なセキュリティ対策を行う
技術的対策でリスクを低減	●**VPN装置**や公開サーバーの不正アクセス対策と**脆弱性対応** ●共有サーバー等のアクセス権の最小化と管理の強化 ●適切なバックアップ運用を行う
システム利用者全員が遵守	●添付ファイルの開封やURLリンクのクリックを安易にしない ●提供元不明なファイルを開いたり実行したりしない

情報セキュリティ対策の基本	・基本ソフトやアプリケーションソフトを最新の状態に保つ ・セキュリティソフトを利用する ・パスワードの管理・認証の強化 ・設定の不備がないか確認し、設定を見直す ・脅威や手口を知る



おすすめコンテンツ

● SECURITY ACTION

SECURITY ACTION
セキュリティ対策自己宣言

中小企業自らが情報セキュリティ対策に取り組むことを自己宣言する制度「SECURITY ACTION」のサイトです

● サイバーセキュリティお助け隊サービス

サイバーセキュリティ CSお助け隊

サイバー攻撃への対処として最低限必要なサービスを効果的かつ安価、確実に提供する中小企業向けのサイバーセキュリティサービス「サイバーセキュリティお助け隊サービス」のサイトです

独立行政法人 情報処理推進機構
Innovation Platform Agency, Japan

2026.9 Version 2